山紫海碧

かさねちゃんに きいてみな

有銘幼小中学校
学校便り 126号
山紫に海碧く
H28. 1.19

十七日（日）、有銘校に劇団たんぽぽがやってきました。文化庁の劇場・音楽堂等活性化事業の一環として東村教育委員会と協力し、毎年開催している有銘公演です。千夏さん、夢愛さん、隆聖さん、菜々さん、若心さん、紗未さん、虹碧さん、眞紀子さん、亜倫さん、一義さん、めいさん、心媛さんが出演し、盛り上げてくれました。観衆が見守る中、約二百名の経験を将来に活かしました。

大きな拍手を得て、大きな自信となったことでしょう。この企画や日程調整、演技指導に来校して下さったたくさんの方々、劇団代表の上保節子様、劇団員やスタッフの皆様、ありがとうございました。日程調整や準備の支援をいただきました東村教育委員会の奥本由紀さん、ありがとうございました。

ご多忙の中、多数のご参観、まことにありがとうございました。

集団縄跳び

小学校体育では、今、集団縄跳びを頑張っています。三・四年生は、連続何回まで達成できるか、挑戦中だ。タイミング合わせて、リズム良く、百回は越えたいね。

思うは招く

だったらこうしてみたら？で　夢は かなう

植松　努
株式会社　植松電機

「どーせむりー」って言ってくれたら、だそれだけで、いつかなくなるんじゃないかな。

学問貸しというもしのいがあります。僕らは学問をもらいます。学問ちゅうものは、誰かに評価されるためのものです。とんでもない間違いです。

会の問題を解決するために人類が生み出したものです。必死になってやったものなんです。教育ってなんでしょうか？。何を教育っていうのか、責任の所在は、懸命学んできました。ーで生まれたものだったんでしょうか？。

失敗の教育っていうのは、失敗を避けて通ってしまったんでしょうか？。

教育というものは、死に至らない失敗を安全に経験させるためのものです。でも、それがすっかりおかしくなってしまったんでしょうか？。

やったことがないことを

やりたがる人

あきらめない人

くふうする人

なぜかというと、失敗をマイナスだと思っている大人がたくさんいたからなんです。

そのなっていくなんです。

可能性と自信をうばっていたのは、みんなの責任です。

これからの日本を良くしていくためには、世界を良くしていくためには、やったことがないことを、やろうとする人、工夫する人、諦めない人、増えればいいんです。

どーせむりに負けない人が増えればいいんです。

じゃあ、その人達は、一体どこにいるのか。それは、みんなです。すべての人がそうなんです。

なぜならば、僕ら人間は、必ず小さい頃を経験します。皆さんもお思いでしょう。

押しボタンあったら、ハンドルあったら、ドアあったら、回してみたくなるんじゃないですか。

そこで、余計なことをすると怒られるもんだった。

実は、生まれた時から諦め方を知っているんです。ひとりもいないんです。皆さんは全員、輝いて生まれてきたんです。

でも、僕たちは、諦め方をちょっと習っちゃってるかも知れません。

そんな自分達の自信を取り戻すための、とてもいい方法がひとつあります。それは、

（つづく）